

富山県立大学生協 健康展

第355号



取り組み概要

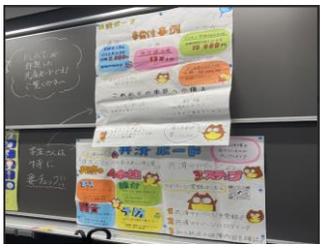
日時：10/19～10/20 9:00～15:00
 場所：富山県立大学射水キャンパス
 参加者数や組合員の反応：126名
 参加者が器具を体験しながら、健康について学んでいました。

- 背景や概要：組合員ではない参加者にも健康や共済について今後考えるきっかけづくりになればというおもいで実施した。多くの体験器具を使って、参加者に自身の健康状態を考える取り組みである。

より多くの参加者の声と健康・安全を

POINT.1

大勢に対して健康・安全を

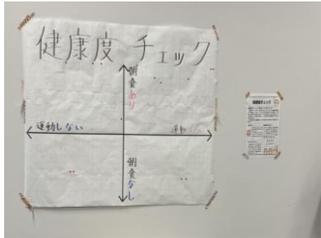


大学祭の出展として、健康展を行いました。参加者に体組成計・スクンチェック・血圧計などの器具を体験することで、自身の健康状態を知り、けがや病気の予防を促しました。その体験する器具には、参加者に理解してもらうために使用方法に加えて測定理由や豆知識も紹介しました。共済ボードを用いて、学生の生活に寄り添ったたすけあいの制度があることや、共済マイページの紹介を行い自分が共済に入っているのかや給付申請忘れの確認も同時に行い、加入・給付を共に呼びかけました。

POINT.2

自分たちの生活を振り返る

健康展の中には、運動と朝食に関するグラフを作成し、来場者にシールを貼ってもらいました。自分と参加者の健康意識も比較し、食生活や運動といった健康面について改めて考える機会になっていました。さらに、器具を体験した後に測定記録を自身の表に記載し、視覚的に健康状態をわかるようにしていました。これにより、普段の生活によっておこる自身の健康度というのを考えるいいきっかけを提供することが出来ました。



POINT.3

組合員の声聞き入れるために



この健康展では、参加者に対して「一言カード」の記入をお願いしていました。一言カードは紙ではなくオンラインで記入できる形式にしてより多くの組合員から声を集める工夫が出来ていました。ここで得られた声の回答は生協内だけでなく大学生や教職員がよく通る場所に掲示をすることでより多くの組合員が生協を運営している実感を得ることができるような工夫が出来ていました。